

泌尿器科疾患・腎臓病治療施設 誠仁会からお届けする健康情報誌

みはま通信

VOL.01 創刊号

2023.October



TAKE FREE

ご自由にお持ちください

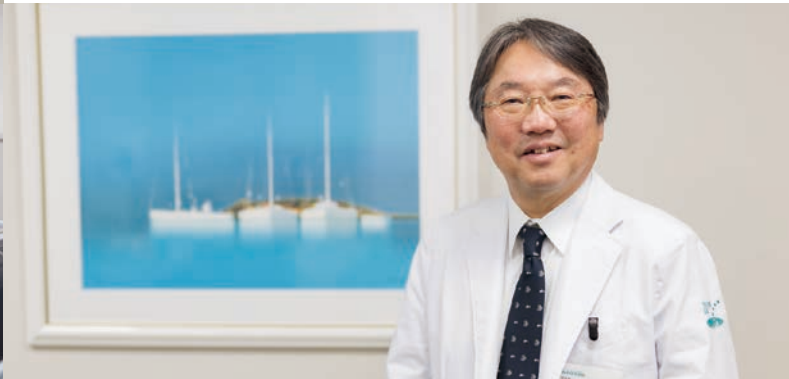


「みはま通信」 創刊にあたって

医療法人社団 誠仁会（みはまグループ）はみはま病院、みはま佐倉クリニック、みはま成田クリニック、みはま香取クリニックの4施設からなります。その前身は昭和50年に千葉市真砂に開院した京葉泌尿器クリニックでした。2025年に設立50周年を迎えるにあたり広報誌として「みはま通信」を創刊いたしました。誠仁会は創業当時より一貫して泌尿器科と人工透析の専門医療機関として地域医療に貢献してきました。これを機にサブタイトルにあるように泌尿器科疾患・腎臓病に関する健康情報を皆様にお届けしたいと思います。創刊号では、みはまグループの各施設を紹介させていただきます。皆様におかれましては内容をご覧いただき、みはまグループのことについて知っていただければ幸いです。



誠仁会 理事長・みはま病院長 正井 基之



正井 基之 理事長・みはま病院長インタビュー

誠仁会の特徴を教えてください

誠仁会は、みはま病院をはじめ4施設とも泌尿器科、慢性腎臓病(CKD)の重症化予防、人工透析を中心とした腎代替療法に特化した医療施設です。特にみはま病院では泌尿器科の入院手術を積極的に行っております。現在は尿路結石や前立腺肥大症などの良性疾患が中心ですが、前立腺癌の診断や放射線治療時の副作用防止のための前処置なども放射線治療専門医療機関と連携して行っています。今後さらに対応できる疾患を拡げていきたいと思っております。

他の医療機関に負けないアピールポイントは？

誠仁会では人工透析については、透析液の清浄化と透析量の増加にいち早く取り組んでおり合併症の予防に努めています。透析患者さんは4施設合計で1200人近くになり、透析歴が40年を超える患者さんも何人も通院しており、千葉県内でも有数の施設であると自負しています。誠仁会では透析患者さんの社会復帰を支援するため、4施設すべてで夜間透析を行っております。透析患者さんの高齢化のため以前より減少していますが、現在は誠仁会全体で176名の患者さんが夜間透析を受けています。

今後の展望を教えてください

泌尿器科では他の診療科に先駆けてロボット手術が導入され、適応となる手術の種類も増えております。みはま病院でも泌尿器科を掲げている以上、ロボット手術を行わないとできる手術が制限されてしまいます。現在ロボット手術の導入にむけて準備しています。みはま病院の病床数は50床ですが、観察室6床を除くとすべて個室でプライバシーが保たれた療養環境があります。今後は麻酔科医の常勤化などを進めて、より幅広い泌尿器科手術に対応できる体制を整えたいと考えています。

大切にしていることは何ですか？

誠仁会の理念は「現時点で自分達ができる最良の医療を提供し続けていく。そのために常日頃、切磋琢磨し、研究・開発し続けていく。」というものです。医療レベルは時代により変化していきます。現在の状況に満足せず、より良い医療を提供できるように努力することが我々の務めであると考えています。現在は日々の進歩が非常に早く我々のような専門の医療機関では最先端の医療をすることは限られますが、他の医療機関と連携して最良の医療を届けたいと思っております。



1 みはま病院



医療法人社団 誠仁会 理事長・みはま病院長 まさい もとゆき 正井 基之

プロフィール

1957年東京都出身

1982年3月 千葉大学医学部医学科 卒業。1982年4月 千葉大学医学部泌尿器科医員 その後関連病院にて研修。1989年4月 千葉大学医学部泌尿器科 助手 1994年4月 帝京大学市原病院(千葉医療センター)泌尿器科 助教授。2001年4月 帝京大学市原病院(千葉医療センター)泌尿器科教授に就任。2006年4月より医療法人社団 誠仁会 みはま病院長、2018年12月 医療法人社団 誠仁会 理事長に就任。みはま病院長を兼務。

●外部活動

一般社団法人 日本臨床泌尿器科医会 副会長、一般社団法人 日本泌尿器科学会 保険常任委員会委員、公益社団法人 日本医師会社会保険診療報酬検討委員会 委員を兼任する。

●趣味

沖釣りといかの塩辛作り

2 みはま佐倉クリニック



みはま佐倉クリニックは「京葉泌尿器クリニック」の最初の分院として昭和53年に設立され、平成12年に「みはま志津クリニック」と改称し、その後平成20年9月に現在の東邦大学医療センター佐倉病院の近くに新築移転し、約15年経過しています。移転の第一の目的は透析患者さんの合併症をしっかり管理することでしたが、東邦大学を中心した基幹病院との連携が図られ当初の目的はある程度達成されています。

当院は分院のなかで最初に泌尿器科の外来診療を行っています。患者数は大学からの逆紹介だけでなく、地元の人にも少しずつ認知されてきたようで、月あたり500-600人まで増加しています。佐倉市では昨年からは前立腺がん検診が始まり、当院は前立腺生検を行う二次検診施設の一つに選定されています。

また4月からCKD外来が拡充され、東邦大学の橋本教授を中心に外来を担当していただき、大学から数十名近い患者さんが紹介されています。看護師、栄養士や検査技師などの参加による多職種CKD重症予防外来は順調にスタートを切っています。

みはま佐倉クリニック 院長 ながかわ おさむ 永川 修

3 みはま成田クリニック



当院は誠仁会の分院として昭和62年9月、成田市囀護台に開設されました。その後、平成12年9月に現在の成田市飯田町に移転し、名称も「みはま成田クリニック」と改称、現在に至っております。

人工透析の専門施設として安全で質の高い透析医療の提供に努めております。現在は慢性腎臓病に対して適正に早期介入を行うことで進行を抑制するとともに、泌尿器科一般外来にも力を入れております。

透析患者さんの高齢化と動脈硬化・循環器疾患をはじめとした合併症の増加に対しては、医師、看護師、臨床工学技士、臨床検査技師、栄養士、薬剤師などの専門スタッフがチームとなって早期に異常を発見し、地域の基幹病院と密に連携を図っております。バスキュラーアクセストラブルに関しては超音波機器を代表とする検査機器を用いて適切に評価し、手術に関しては患者さんに負担をかけないように迅速に当院にて対応いたします。また当院では18床の病床を準備し、ご家族においても安心を提供できるよう努めております。

今後も慢性腎臓病と人工透析、一般泌尿器科の専門クリニックとして地域の皆様に信頼を得られるようスタッフ一同努力を重ねて参ります。

みはま成田クリニック 院長 むらかみ こういち 村上 康一

4 みはま香取クリニック



みはま香取クリニックは4施設の中でも小規模なクリニックですが、透析患者さんは160人近くに上り、職員は総勢50人。職員全員が力を合わせ、患者さんが少しでも元気になってもらいたい、少しでも幸せになってもらいたいと願い、診療に携わっています。なかでも透析患者さんに多い心血管系合併症の早期発見、早期治療、高齢化する透析患者さんのフレイル、サルコペニアの予防などを重点的に多職種チームで取り組んでいます。一方、北総地区では少ない夜間透析も行っており、若い世代の透析患者さんの社会復帰も応援しています。

山椒は小粒でもピリリと辛い、そんな存在感のあるクリニックを目指し、職員一同切磋琢磨しています。

香取神宮は東国三社のひとつで、初代神武天皇18年の創建と伝えられ、日本書紀に登場する武術の神様「経津主大神（ふつぬしのおおかみ）」を祀っているそうです。北総の小江戸と言われる小野川周辺の歴史的建造物が残る町並みは、国選定、重要伝統的建造物群保存地区となっています。

また約300年の伝統を有し、夏と秋に行われる佐原の大祭は、関東三大山車祭りのひとつでユネスコ無形文化遺産、国指定重要無形民俗文化財です。

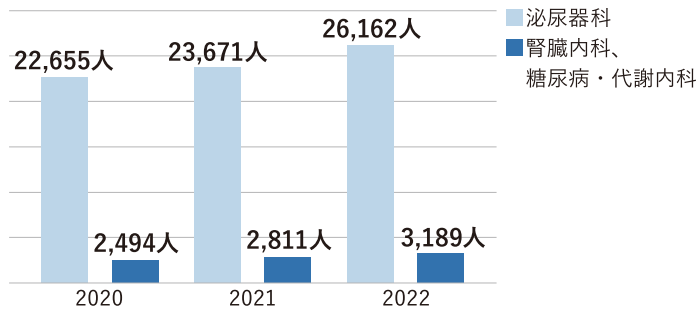
このような水と緑の豊かな自然に囲まれた歴史的な街、伝統ある祭りを愛する人情味豊かな人々が暮らす香取において、広報誌『みはま通信』を通して、地域の医療・福祉に携わる施設との連携を深めることができること、地域の皆様の健康に少しでも役立つ情報を提供できることを心から願っております。



みはま香取クリニック 院長 さかい たけひこ 坂井 健彦

みはまグループの紹介

外来患者数 (みはま病院)



泌尿器科は、近隣の医療機関より腎尿路結石症、前立腺肥大症等の紹介を多数いただいています。また、前立腺がん検診2次精密検査協力機関であり生検検査に対応しています。

慢性腎臓病(CKD)重症化予防

個々の患者さんに応じた最適な治療を専門医、協力医をはじめ看護師、薬剤師、管理栄養士がチームで重症化予防に努めます。

泌尿器科のおもな手術件数 (みはま病院2022年度)

疾患	件数(件)
腎尿管結石	213
前立腺肥大症	61
泌尿器科悪性腫瘍	77
前立腺生検	162



腎尿路結石症、前立腺肥大症治療は得意とする分野です。

前立腺肥大症手術では、2種類のレーザー機器を有しており、術前には排尿機能検査を行い、より適切な治療選択を提案しております。

メッセージ

みはまグループは、地域のかかりつけ医の先生方との連携を大切にしています。泌尿器科疾患で緊急性の高い方や慢性腎臓病(CKD)で腎臓専門医や糖尿病の専門医の受診が必要な方など、かかりつけ医の先生方からのご紹介に迅速に対応致します。

慢性腎臓病(CKD)は、高齢と共に進行することがありますが、地域の皆さんが住み慣れた地域で生活し続けられるように、かかりつけ医の先生方と協力しながら支援して参ります。受診のご相談の際は、地域連携課、または各施設までご連絡ください。



ロゴマークについて

我々から投げかけられた物事が、無限の広がりを見せていく様子を表現

みはま病院

〒261-0013 千葉県千葉市美浜区打瀬1-1-5
TEL : 043-271-2200 FAX : 043-271-2288

みはま佐倉クリニック

〒285-0841 千葉県佐倉市下志津602-1
TEL : 043-461-2111 FAX : 043-461-7622

みはま成田クリニック

〒286-0041 千葉県成田市飯田町129-1
TEL : 0476-29-8811 FAX : 0476-29-8833

みはま香取クリニック

〒287-0041 千葉県香取市玉造2-9-3
TEL : 0478-52-0011 FAX : 0478-52-0012

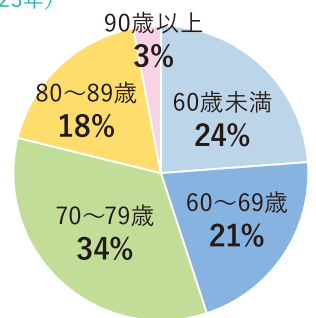
透析患者数 (2023年8月末現在)



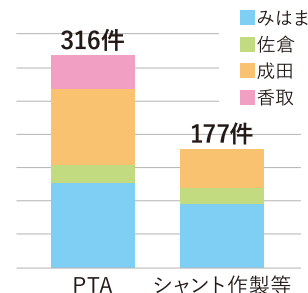
全国では約35万人の方が、そして、千葉県では1万6千人を超える方が透析治療を受けられています。

透析患者さんの年齢分布 (2023年)

70歳以上の方が半数以上を占め、90歳以上の方も27名おられます。9割以上の方が住み慣れた地域(自宅・施設)からお元気に通院されています。私たちは、より良い治療を提供することはもちろん、患者さんの生き方、心の持ち方を学んでいます。



バスキュラーアクセス関連手術件数 (2022年)



バスキュラーアクセス(シャント作製等)とは血液透析を行う際に、体内から血液を取り出し、再び体内に戻すための血管手術です。主に腕に作ります。当会では4施設で血管拡張(PTA)や関連する手術を受けることができます。

